

エコライフ市谷

～身近な暮らしのエコ活動を考えよう～

対象：小学校4年生

教科：総合

関連する単元：社会科「ゴミのゆくえ」「水をもとめて」、理科「生き物の暮らし」

時間数：70時間

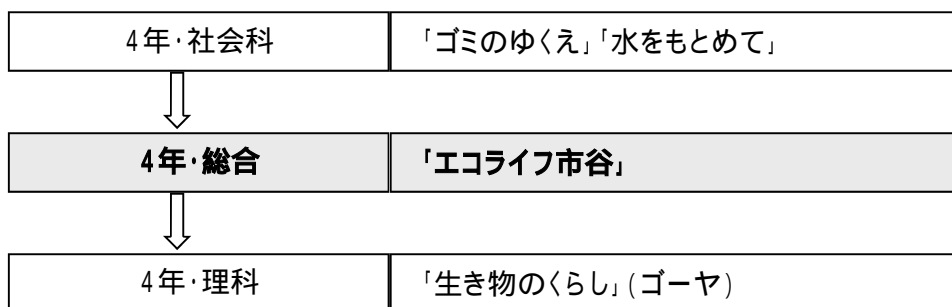
【単元の概要】

学習の背景

- ・全校児童が環境に対する意識が高く、家庭の協力も得られる。
- ・学校に風力発電や太陽パネルの施設がある。
- ・6年間の中で系統的に学習計画が立つよう、5年生の新エネルギー学習につながる学習を取り入れた。

単元の位置づけ

社会科の単元「ゴミのゆくえ」「水をもとめて」



単元のねらい

- ・身近な生活の中で、取り組むことが可能なエコな活動について調べ、そのよさについて考える。
- ・学習したことを理解し、環境を考えて行動できる態度を身につける。

概要

身近な生活の中から自分が続けていけるエコ活動の取組みについて課題をもち、追究して自分の考えを構築していく。そして、学んだことを元に、継続して環境保全のための行動に取り組む自分に成長する。

指導計画（全70時間扱い）

1 学期 導入：11時間 「自分の課題を見つけよう」

「みどりの小道」環境日記 (<http://www.midorinokomichi.net/info/>) を3ヶ月続けながら、自分のくらしの中のエコ活動に取り組んでみる。その中から気づいたことを友だちと情報交換し合い、自分の課題を見つけしていく。

2 学期 展開：35時間 「調べたり、体験したりして考えよう」

自分の課題（3R、節電、節水、ゴミ分別など）について、新聞やパンフレット、冊子、インターネットの情報などで調べたり、専門家にゲストティーチャーとして情報を聞いたりして追究していく。また、体験（廃油で石けんを作る、ゴーヤで緑のカーテンを作る、ペットボトルを繊維にする実験をする等）を取り入れ、楽しんで学んでいく。

3 学期 まとめ：24時間 「自分の考えを伝えよう」

調べて分かったことや、自分の考え、これからの生き方についてまとめたことを、保護者・地域に発信していく。グループとしてのプレゼンテーションや個人の新聞づくりなどをする。

【環境意識を育成し実践行動へとむすびつけるために工夫した点】

課題設定：実際に取り組んだ中から課題を見つける。

体験実施：調べるだけでなく、体験を取り入れることで、楽しんで学べるようにする。

発信：自分の生き方を保護者や地域に発信することで、理解が得られ、協同で今後取り組んでいくことができるようにする。

【単元・授業の流れと活動目標】

「自分の課題を見つけよう」（11時間）

学習指導要領の対応

〔活動目標〕自分が取り組んだエコ活動の中から課題を見つけしていく。

総合 P.14

導入
（11時間）

活動内容

身のまわりの環境について気づいたことを自由にウェビングする。
・家庭や地域、学校などで気づいたことを出し合う。

指導、留意点

ねらい：今までの取組みからスタートできるように、身のまわりのエコ活動と結びつけさせる。

<p>環境日記「みどりの小道」を実施し、エコ活動に取り組んでみる。 ・毎日ひとつ以上実践して記録する。</p> <p>それぞれの取組みについて情報交換する。 ・水、電気、リサイクル、ゴミ分別、植物の世話などの実践を紹介し合う。</p> <p>取り組んだエコ活動の中から、全体で様々な課題を見つける。</p>	<p>ねらい：<u>家庭にもエコ活動に協力していただき、意欲が持続するように励ましていく。</u></p> <p>ねらい：<u>なかなか多様な活動が思いつかない児童のヒントにさせる。</u></p> <p>ねらい：<u>実際に取り組んだことから、考えさせることによって、実現可能なエコ活動に結びつけていく。</u></p>
---	---

国語 P.54

調べたり、体験したりして考えよう（35時間）

〔活動目標〕自分の課題について、調べたり体験活動を通して追究する。

活動内容	指導、留意点
<p>自分の課題を決めるためにゲストティーチャーを招き、情報を教えてもらったり、体験学習したりする。 ・廃油を使った石けんづくり ・ペットボトルリサイクル繊維づくり ・配管リサイクルペンダントづくりなど</p> <p>自分の課題を決定し、調べ学習をする。</p> <p>テーマが似ている友だちとグループを作り、情報交換する。</p>	<p>ねらい：<u>多様な専門分野の方々に来校していただき（企業、NPOなど）、楽しんで学習が進められるようにしていく。</u></p> <p>テーマ：水、3R、ゴミ分別、ペットボトルリサイクル、ビン、カンリサイクル、紙リサイクル、動植物など</p> <p>ねらい：<u>個人課題をしっかりとせ、主体的に学習を進められるようにする。</u></p> <p>・パンフレット、インターネット、DVDなどの情報を活用させる。</p> <p>ねらい：<u>友だちとの情報交換によって視野を広く、内容を深くさせていく。</u></p> <p>・友だちの視点のよさにも気づかせていく。 ・新たな課題や疑問が生じた時は、再度調べ学習を設定する</p>

総合 P.16

自分の考えを伝えよう（24時間）

〔活動目標〕自分の考えやこれからの生き方についてまとめたことを、保護者、地域に発信していく。

まとめ
（24時間）

活動内容	指導、留意点
テーマ別のグループで話し合ったことを報告する。	ねらい： <u>自分の観点だけでなく、他のテーマの情報を聞くことで、自分の考えに厚みをもたせる。</u>
自分の個人課題のまとめをする。	ねらい： <u>自分なりに工夫して、表現できるよう、様々な表現方法を挙げる。</u>
各自の課題について発表し合い、これから取り組んでいくエコ活動を宣言する。	ねらい： <u>これからずっと続けていけるエコ活動を宣言できるよう助言する。</u>

国語 P.60

学習の効果・児童の変化について

学習の効果

- ・環境日記は、家庭との協力のもと、3ヵ月間多様な取り組みができた。
- ・体験を取り入れたので、学習に変化があり、意欲が持続した。
- ・ゲストティーチャーとの交流により、楽しんで学習が進んだ。
- ・校内ばかりでなく、家庭においても、エコ活動の意識が高まり、行動にあらわれるようになった。

児童の感想より

- ・沖縄でゴーヤのことをアバサゴーヤというのを知りました。自分たちでゴーヤチャンプルを作りました。自分たちで作ったのでおいしかったです。
- ・ペットボトルのチップで糸ができるとは思わなかった。じっけんは、すごく楽しかった。この糸から服ができるとは思ってもみなかったけど、本当にできました。私は、こんな体験は初めてで、とっても楽しかった。また、こんなことをしたいです。
- ・石けんのが一番面白かったです。それは、自分の上ばきなどを洗ってみたからです。そうしたら、ピッカピカになるので楽しみにしています。
- ・ペットボトルはリサイクルできることは知っていました。でも、衣類に変わることはおどろきました。まだいっぱいリサイクルできる物を知りたいと思います。
- ・私はみどりの小道で心に残った学習があります。それは、みんなの家でもおふろの水を洗たくに使っているのです。私の家でもやっているけど、みんなもやっていて私はエコだなと思いました。これからもエコに取り組もうと思いました。
- ・給食の廃油から石けんを作りました。何回もふったらドロドロの石けんができました。石けんになるか心配でしたが、今では固くなりました。
- ・ぼくは、緑のカーテンにゴーヤがたくさん実っていたので、とてもうれしかったです。そして、そのゴーヤでゴーヤチャンプルを作りました。ゴーヤチャンプルはとてもおいしかったです。またゴーヤを育ててみたいです。